

9 大乘仏教の論争—大乘は仏説なのか—

【全4回】／開催方法：ハイブリッド

わたなべしょうご
渡辺章悟

東洋大学名誉教授



受講料 会員料金：¥9,000 早割価格：¥8,000(納入期限：7月5日)

【日程・時間】【全4回】 7月12日(金) 13:20~14:50・15:00~16:30
7月13日(土) 10:30~12:00・13:20~14:50

■受講に必要なもの

[テキスト] レジューメ配布

昨年度は「大乘仏教とは何か」というテーマで、その起源と展開から、大乘仏教を貫く主要な思想を解説しました。今年度は大乘仏教の確立をめぐる引き起こされた論争に焦点を当てて大乘仏教の問題点を解説してゆきます。

インド仏教のなかでは後発だった大乘仏教が、その権威を確立するためには、伝統仏教との論争を待たねばならなかった。そこで〈大乘とは何か、大乘仏教は仏説なのか〉(大乘仏説・非仏説論)、〈さとりに至る道はどのようなものなのか〉(一乗・三乗説)といった問題が中心テーマとなり、仏教徒の間で大きな論争となった。今でいうディベートである。

その発端は大乘仏教経典や当時の諸資料にみられるが、そればかりでなく大乘の学僧による論書や、それを継承した東アジアの仏教僧も「一乗」や「三乗」・「四乗」の論争としてより深い思索を加えてきた。日本仏教の祖師たちもこの問題をめぐる論争を繰り返しながら、自らの教えの研鑽に努めてきた。

本講はこれらの問題に焦点を当てて、4回にわたって講義する予定です。受講者は特別な準備は不要です。パワーポイントを使って初心者にもわかるように解説いたします。

- 第一講 大乘仏説・非仏説の論争 〈インド仏教史から〉
- 第二講 大乘仏説・非仏説の論争 〈日本仏教の論争と展開〉
- 第三講 さとりに向かう道 〈インド大乘の一乗と三乗〉
- 第四講 さとりに向かう道 〈日本仏教の一乗説〉

【参考書】

- ①般若経の思想 著者：渡辺章悟 出版社：春秋社 出版年：2019